

2026 年度事業計画

1. 事業概要

1.1 第 5 世代移動通信システム

当協議会におけるローカル 5 G への対応については、（一社）日本ケーブルテレビ連盟の無線利活用委員会によるローカル 5 G の取り組みと歩調を合わせ、通信事業者やベンダーなどの取り組み状況など情報収集を図ると共に、ケーブルテレビ事業者による免許取得などに向けた取り組みを支援していく。

1.2 地域 BWA / I o T

当協議会では、I o T を用いた見守りサービスや観光客の動線の可視化などについて検討を進めてきているが、（一社）日本ケーブルテレビ連盟の無線利活用委員会でも、ケーブルテレビ事業者が I o T を活用した実証事業に向けて検討を行っている。当協議会としても、I o T の先行事例や先進的な取り組みの共有により、ケーブルテレビ事業者の I o T への取り組みを継続して支援していく。

（一社）日本ケーブルテレビ連盟無線利活用委員会による地域 BWA の推進やローカル 5 G 導入の検討と連携した技術的課題などについて、当協議会としても継続して検討を行う。

1.3 Wi-Fi

当協議会でも事業者の Wi-Fi 環境の構築について、引き続き、新技術や先行事例の共有により支援をしていく。

現行規格である IEEE802.11be(Wi-Fi 7)のユースケースや、次世代規格と考えられている IEEE802.11bn(Wi-Fi 8)の策定の動向や新機能についても情報共有を図っていく。

当協議会は、（一社）日本ケーブルテレビ連盟や（一社）日本ケーブルラボなどと連携しながら、無線 LAN の高度化に向けた課題検討を進めていく。

2. 活動計画

部会	活動事項
無線利活用部 会	・ 本部会は、第 5 世代移動通信システム、地域 BWA / I o T エリア放送や、Wi-Fi など、無線技術に係る事項およびビジネスモデルについて情報の共有を行う。 ・ 第 5 世代移動通信システムについては、ローカル 5 G の活用事例などの情報収集を進め、（一社）日本ケーブルテレビ連盟の無線利活用委員会の活動と歩調を合わせて活動していく。 ・ I o T の取り組みについては、BWA や LPWA、ローカル 5 G も

	含めて検討を進めていく。 ・ ケーブルテレビによる Wi-Fi 環境の更なる構築に向けて、ケーブルテレビ事業者の取り組み支援を行っていく。 また、家庭内のインターネット環境の向上に向けたメッシュ Wi-Fi や IEEE802.11be(Wi-Fi 7)の活用等についても検討を進める。 ・ 23GHz 帯可搬型無線伝送システムや 5GHz 無線アクセスなど、ケーブルテレビで利活用が可能な無線システムについて、利活用の促進に向けた取り組みを行う。
BWA 部会	・ BWA 部会単独での会合開催は、今年度も休止する。 ・ 地域 BWA の推進については、（一社）日本ケーブルテレビ連盟の無線利活用委員会や地域 BWA 推進協議会での活動を主として進めていくこととし、無線利活用委員会や地域 BWA 推進協議会との連携・情報共有を継続し、適宜、当部会および無線利活用部会メンバーへ報告・周知を行う。